

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	成人看護実践論	必修/選択の別		授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年	学期及び曜時限		教室名	
担当教員	藤田 美穂	実務経験と その関連資格	関西医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院 約10年勤務		

《授業科目における学習内容》

前半では看護過程演習を通して、健康障害をもつ成人に関する様々な情報を整理し、情報の解釈・分析・統合により看護問題(看護診断)を導き、看護問題の優先度を考えた看護計画の立案を学習し、成人期の対象と看護の理解を深める。さらに、後半では成人看護学で活用される技術の演習を実施することにより、看護実践の基礎能力を高める。

《成績評価の方法と基準》

看護過程の展開(30%)
パンフレット作成・発表、出席状況、授業態度、討論参加状況、課題レポート(70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

毎回教員作成の講義資料配布
ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断:江川隆子(ヌーバルヒロカワ)
看護診断ハンドブック第10版:リンダJ.カルペニート(医学書院)

《授業外における学習方法》

前半は看護過程の展開をするため、講義に入る前に事前課題を出します。講義後に自己にてアセスメントや、関連図、看護計画立案を進めてもらいます。また、わからない言葉など自己にて調べる、質問して自分の知識としていって下さい。
後半は患者教育支援としてパンフレットを作成するため、グループで内容の検討を進めることもあります。また、看護実践について課題レポートを実践したことの振り返りや自己のこの課題を見出すこと、重要なことが頭に残るよう思考の整理をする意味で記入し、提出して頂きます。

《履修に当たっての留意点》

グループワーク、意見交換や学びの確認・共有時間には活発に自分の思いを表現していくようにして下さい。授業に関するレポートを提出する場合は、提出期限・提出時間を守って下さい。遅れての提出は、受け付けません。授業での課題は点数化しますので守らなければ点数加算されないことを理解して下さい。また、成人看護学実習Ⅰに直結する内容ですのでわからないことは解決して、自分のものになるよう取り組んで下さい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 成人看護学における看護過程を展開していく際のポイントを理解し、その展開方法について学ぶことができる	講義資料 教科書	看護過程の復習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	1)看護過程の復習 2)ゴードンの機能的健康パターン(自己概念,役割,セクシャリティ,コーピング,価値パターン)について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 ゴードンの機能的健康パターンに沿って情報の整理が出来る	講義資料 教科書	看護過程の復習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	1)事例のアセスメントに必要な知識について 2)全員で事例の情報の振り分け 3)個人思考でゴードンのアセスメント行う		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 学習してきた知識を使ってアセスメントを進めることが出来る	講義資料 教科書	情報の振り分けをしておくこと
	各コマにおける授業予定	ペアワーク ペアでアセスメントを共有し、自分に足りない内容を深める		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 関連図についての知識を知って、記入を進めることが出来る	講義資料 教科書	アセスメントを進めておくこと
	各コマにおける授業予定	1)関連図を書く意味 2)関連図の種類 3)関連図の書き方ポイント		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 個人で関連図を記入すること出来、思考や不明な点を他者と共有することが出来る	講義資料 教科書	アセスメントを進めておくこと
	各コマにおける授業予定	ペアワーク ペアで関連図を共有し、自分に足りない内容を深める		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	回復期にある脳梗塞の患者の看護問題、目標、プランを立案する考え方を知らることが出来る	講義資料 教科書	アセスメントと関連図を進めておくこと
		各コマにおける授業予定	1) 看護問題(看護診断)について 2) 看護目標と看護計画についての考え方 3) 看護計画立案を個人思考で行う		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	回復期にある患者の看護計画を立案する考え方を知り、計画を立案出来る	講義資料 教科書	アセスメントと関連図を看護計画を進めておくこと
		各コマにおける授業予定	ペアワーク(状況によりグループ) 看護計画を共有し、自分に足りない内容を深める		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	SOAPの考え方、書き方についてのポイントがわかる	講義資料 教科書	アセスメントと関連図を看護計画を進めておくこと
		各コマにおける授業予定	1) SOAPを書く時に意識すること 2) 看護過程のまとめ(成人看護学実習 I に向け、疑問点・重要点を押さえる。最終提出に向けて準備し、提出する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者教育指導の必要性・方法を理解し、看護実践の準備ができる		
		各コマにおける授業予定	患者教育(退院指導)の考え方		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループで協同して、回復期にある対象の退院指導案を立案できる		
		各コマにおける授業予定	グループワーク 退院指導案作成 回復期にある対象の退院指導パンフレット作成①		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループで協同して、回復期にある対象のパンフレットを作成できる		
		各コマにおける授業予定	回復期にある対象の退院指導パンフレット作成②		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループで協同して、回復期にある対象のパンフレットを作成できる		
		各コマにおける授業予定	回復期にある対象の退院指導パンフレット作成③		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	作成したパンフレットを用いて患者指導の看護実践を行い、振り返りが出来る		
		各コマにおける授業予定	回復期にある対象の退院指導の実演(患者役を立てて実際の指導のスタイルに近づけて行う)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1) 術後ベッド作成に必要な物品と、その根拠を学習し模擬実践に繋げることが出来る	講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定	術後ベッド作成の根拠の理解復習 深部静脈血栓症のメカニズムの理解		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	1) 全身麻酔手術の術後ベッドを作成の方法がわかる 2) 弾性ストッキングの装着方法がわかる	講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定	術後ベッド作成デモンストレーション 弾性ストッキングの装着援助 腹部マッサージと温罨法		